

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現【C 読むこと】	主体的に学習に取り組む態度
【知】 ・比や反復などの表現の効果に気づくこと。ク	【思①】 ・人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。 【(1)精査・解釈エ】 【思②】 ・文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめることができる。【(1)考えの形成オ】	【主】 ・言葉がもつよさを認識し、筆者の伝えたいことや考えたいことを自分なりに考えて表現しようとしている。

単元の計画

学習過程	資質・能力を育むための学習活動と内容	評価規準
構造と内容の把握	【0次】 宮沢賢治の作品の読み聞かせを聞く。 ・「よだかの星」「注文の多い料理店」「セロ弾きのゴーシュ」「どんぐりと山猫」 【一次】 1 「やまなし」の範読を聞き、難しい表現や単語を確認し、初発の感想を書く。 ・分からないことやすごいと思う表現を書く。 ・文章からの5月と12月のイメージを書く。 2 自分が新聞にしたい宮沢賢治の作品を選ぶ。	【主】
精査・解釈	【二次】 3 登場人物の会話や行動、暗示的な描写について想像をしながら5月を読む。 ・会話文から、水の様子から、光の様子から、色の表現から、上からきたもの様子 ・イメージを絵にかきながら読む。 4 登場人物の会話や行動、暗示的な描写について想像をしながら12月を読む。 ・会話文から、水の様子から、光の様子から、色の表現から、上からきたもの様子 ・イメージを絵にかきながら読む。 5・6 「イーハトーヴの夢」を読み、賢治の生き方や考え方について知る。 7 5月と12月を比較して読み、共通点や相違点を探す。 8 『「やまなし」という題名にしたのは何故か』という問いから、賢治の言いたいことは何かを考える。(本時)	【知】 【思①】 【思①】 【思①】 【思②】
共有	【三次】 9・10 自分が選んだ宮沢賢治の作品から、新聞を完成させる。 11 作成した新聞を紹介し合う。	【主】 【知】

本時の指導(7/11)

- 目標 題名を「やまなし」にした理由について、自分なりの言葉で表現し作者の伝えたいことを考えることができる。
- 学習活動

学習活動	○主な発問や指示 ・見方・考え方を働かせている児童の姿	◎支援 ◆評価(評価方法)	
5分	1. 前時までの学習を振り返る。	○初めの感想で賢治がなぜ「やまなし」を題名したのかを疑問に思っている人が何人かいました。今日はそんな疑問などからみんなで考えた単元計画にあるなぜ賢治が題名をやまなしにしたのかを学習しましょう。 本時の課題なぜ、賢治は、題名を「やまなし」にしたのだろうか。	
考えの形成 10分	2. 題名について近くの人と話し合い、考える。	○どうして宮沢賢治は題名を「やまなし」にしたのでしょうか。他の題名だったら何が思い浮かぶでしょう。 ・「クラムボン」、「かへの親子」、「かわせみ」 ○かわせみはやまなしと対比しましたね、誰のための命だったでしょう。 ・かわせみは自分のために命を奪います。 ・やまなしはかのために命をあげています。 ○「やまなし」という題名で賢治の伝えたいことは何でしょう。賢治の伝えたいことが書かれているのはどれだったでしょう。 ・イーハトーヴの夢で賢治の夢や理想がありました。 ○イーハトーヴから賢治の夢や理想が書いてあるところを文から読み取ってノートに書きましょう。 ・「なんとかして農作物の被害を少なくし、人々が安心して田畑を耕せるようにできないものか。」と考えています。 ・「苦しい農作業の中に、楽しさを見つける。工夫することに喜びを見つける。そうして希望を見つけることが先生としての理想」と考えています。 ・暴れる自然に勝つためには、みんなで力を合わさなければならない。互いに心が通い合わなければならない。と考えています。 ・人間が人間らしい生き方ができる社会。 ・人間も動物も植物も互いに心が通い合うような世界が夢と書いています。 ○イーハトーヴを読み直すと賢治の夢や理想が分かりますね。今出たことから賢治が題名をやまなしにした理由を自分なりに書きましょう。 ・「力を合わせるには、たがいにやさしい心が通い合っていなければいけない」という賢治の理想を書いていました。だから、自分のために魚を取る「かわせみ」よりも、かのために自分が落ちてきた「やまなし」の生き方を伝えたかったのではないかと思います。(A) ・人のために自分を犠牲にしても最後まで生きた賢治の生き方は、やまなしのかにや他の命のために自分の命をあげることと似ているので、やまなしのことを伝えたかったのだと思います。(A)	◎自分のノートの谷川の絵や全文シートを見直すように声をかける。 ◎全文シートや賢治の年表をもとに読み取るようにする。 ◆B 作者が題名を「やまなし」にした理由を作者の理想等と結びつけて考えることができる。 A 作者が題名を「やまなし」にした理由を作者の理想と結びつけて自分なりの言葉で考えることができる。
整理 7分 共有 8分	・イーハトーヴの夢から賢治の理想や夢を読みとる。		
再構築 15分	3. 全体で話し合う。		
	(3) 自分が選んだ作品の中で、作者が伝えたかったことを考える。	◆選んだ本から主題について考えようとしている。	